

# Manual EVO.CHANNEL V 1.0





# Introduction

## EVO Channel - The Ultimate Channel Strip Redefined

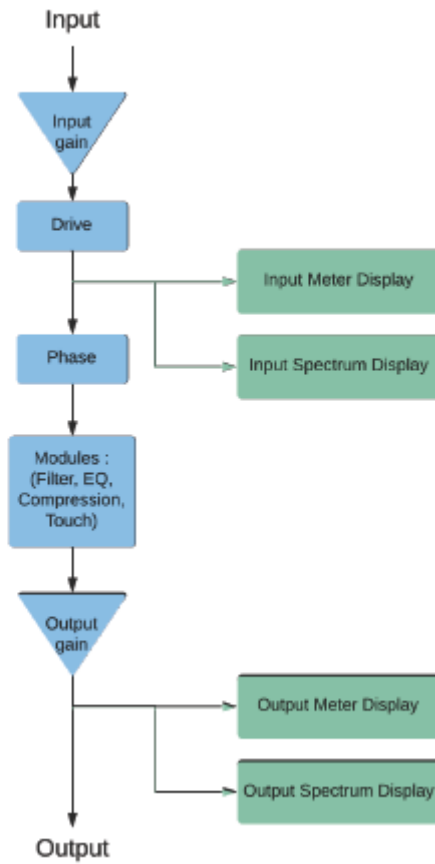
すべてのアナログコンソールの重要な要素であるアナログチャンネルストリップは、効率的で速く音作りを素晴らしいものにするためにあります。

EVO Channelは、ワークフローと音質の点でデジタルイノベーションの利点を追加し、音をコントロールするために必要なすべてを提供しながら、効率的、迅速、そして実践的になるように設計されています。





## EVO Channel architecture





# General Settings

## Bypass

Global bypass が押されると、信号は入力から出力に直接ルートされます。

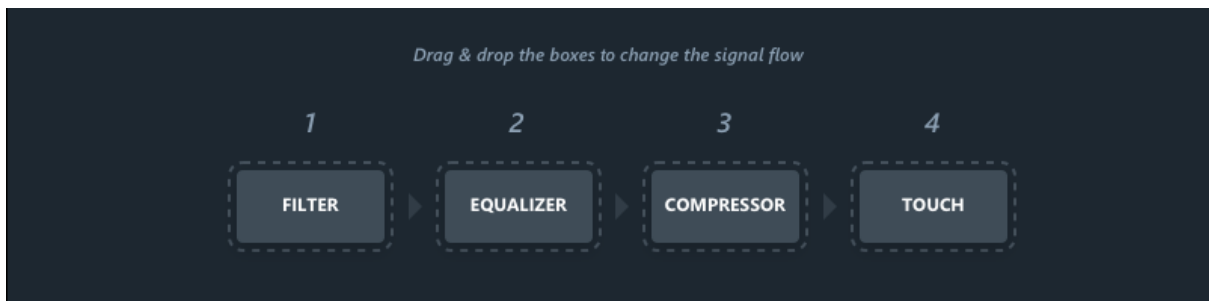
- Value Range : Enabled/Disabled
- Default Value : Disabled

## Skin

EVO Channel user interface.の外観を変えます。

- Value Range : Light/Dark
- Default Value : Light

## Flow



フローを使用すると、EVOチャンネルのモジュールの順番を変更できます。モジュールをドラッグ&ドロップするだけで、シグナルフローを設定できます。



# Module Settings

## Analyser

### Analyser Switch

スペクトラムアナライザはFlux :: Pure Analyzerを元に、EVO Channel用に最適化されています。このアナライザにより、オーディオのさまざまな周波数領域で何が起きているのかを正確に直接見ることができます。

スイッチを入れるとスペクトラム解析が有効になり、イコライゼーションビューパネルに表示されます。グレーの波形は入力メーターと同じで、入力信号(ポストゲインドライブ)を監視しています。黒く表示されているのは出力メーターと同じアウトプットシグナル(ポストアウトプットゲイン)です。

- Value Range : Enabled/Disabled
- Default Value : Enabled

### Analyser Slider

曲線の周波数分解度をコントロールします。スライダーを左に動かすと曲線が滑らかになり、右に動かすと細かな様子が表示されます。

- Value Range : No Value

## Input

### Input Gain

入力ゲインコントロールはEVOチャンネルの入力で信号のレベルを調整します。メーターには、-24~+ 18 dBの範囲で、-18 dBを基準にしたRMS信号(VUメーター、青)とピーク信号(ピークメーター、緑)の両方が表示されます。

- Value Range : -24.0 dB / +18.0 dB
- Colors : - Blue : RMS Value - Green : Peak Value
- Default Value : 0.0 dB

### Drive

EVOチャンネルでは、信号のドライブが入力ゲインで利用可能で、サウンドの活力を回復し維持します。ドライブモジュールは特別にオーディオトラックに柔らかさと暖かさを加えるように設計されています。

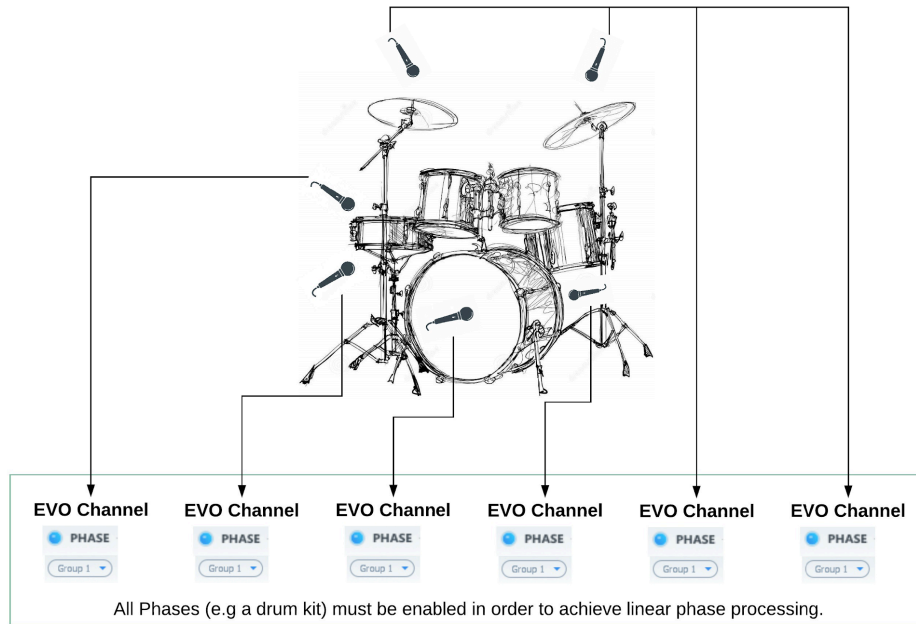
- Value Range : 0% / 100%
- Default Value : 0%

### Phase

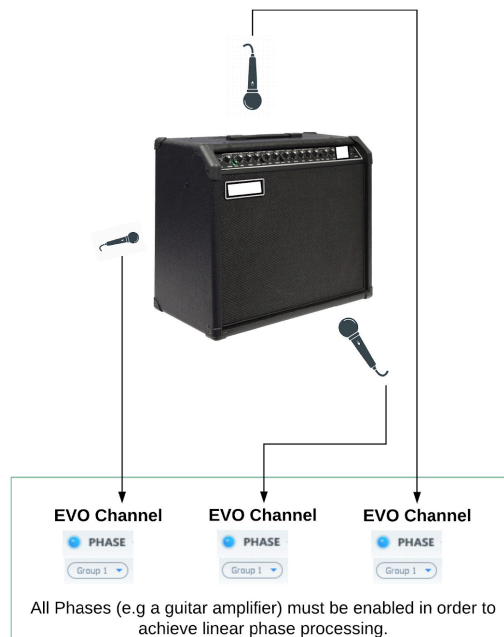
Phaseは最もクリティカルなパラメーターの一つです:1つの同じ音源に複数のマイクを使用する技術の典型的な例は、ドラムの録音をする場合です。

マイクの位相を制御することはユニバーサルであり、スタジオでもライブでも使用できます。

EVOチャンネルでは、遅延を追加することなく、物理的にマイクを動かすのと同様のことを自然に行うために、スペクトル全体にわたり直線的な任意の位相回転を行います。



Phaseはすべてのドラムトラックに対して有効にする必要があります。また、これらすべてのトラックに同じグループ番号を設定してください。  
ワンクリックですべてのドラムのPhaseを有効または無効にすることができます(トラックの1つの位相のオン/オフを切り替えるだけです)。



## Phase Switch

PhaseはFlux ::独自の研究結果であり、このユニークなアルゴリズムは遅延ゼロの線形位相補正を可能にします。

同時に同じ部屋で録音されたすべてのトラックのPhaseモジュールをアクティブにし(マルチマイクトラッキングまたはライブ録音など)、位相が合い正しく聞こえるまでトラックのスライダーを調整します。



有効にすると位相補正がオンになります。

- Value Range : Enabled/Disabled
- Default Value : Disabled

## Phase Group

EVO ChannelをPhaseグループに追加します。EVO Channelをグループに追加すると、同じグループのすべてのメンバーが同時にPhaseを有効または無効にすることができます。

これを行うには、目的のグループのグループ番号を選択してグループに追加します。グループ内のどれかのEVO ChannelのPhaseスイッチをオンまたはオフにすると、同じグループのメンバーであるすべてのEVO Channelに影響します。

- Value Range : None/Group number
- Number of groups : 8 groups
- Default Value : Disabled

## Phase Correction

位相補正に使用するシフト値を設定してください。

- Value Range :  $-180^{\circ}$  /  $180^{\circ}$
- Default Value

## Polarity Invert

有効にすると、位相反転が適用されます。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Disabled

## Equalization module

チャンネルストリップの重要な要素の1つは、効率的で完全なイコライザーです。

EVO Channel EQは、6~24 dBのHi / Loフィルターを追加した、分かりやすい4バンドイコライザーです。グラフィカルなインタラクティブEQカーブはビジュアルレスポンスに直接接続した操作を可能にするために内蔵スペクトラムアナライザーの上に重ねられています。

Epureのように、独自のState-Spaceテクノロジーを使用して構築されたEQセクションは、パラメータ設定とは無関係に最適なS / N比を維持するように慎重に調整されています。最も要求の厳しいイコライジングとフィルタリングに適した、効率的な精密ツールです。

EQモジュールは2つの部分に分けられます。

- ローカット、ローシェルフ、ハイカット、ハイシェルフフィルターからなるフィルター部。
- 4バンドのパラメトリックEQステージ





## Low-Cut Switch

ローカットフィルターを有効にします。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## Low-Cut Cutoff Frequency

カットオフの周波数

- Value Range : 20Hz to sampling rate / 2
- Default Value : 20Hz

## Low-Cut Slope

ローカットフィルターの傾き

- Value Range : 6dB/oct - 24dB/oct
- Default Value : 6dB/oct

## Low Shelf Switch

low shelf を有効にします。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## Low Shelf Cutoff

low shelf のカットオフ周波数

- Value Range : 20Hz / 22050Hz
- Default Value : 100Hz

## Low Shelf Gain

カットオフ周波数以下のゲイン

- Value Range : -24.0dB / +24.0dB
- Default Value : 0.0dB

## High-Cut Switch

high cut filter を有効にします。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## High-Cut Cutoff Frequency

high cut filter のカットオフ周波数

- Value Range : 20Hz to sampling rate / 2
- Default Value : Sampling rate / 2

## High-Cut Slope

high cut filter の傾き

- Value Range : 6dB/oct - 24dB/oct
- Default Value : 6dB/oct

## High Shelf Switch

high shelf を有効にします。





- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## High Shelf Cutoff

high shelf のカットオフ周波数

- Value Range : 20Hz to sampling rate / 2
- Default Value : 5000Hz

## High Shelf Gain

cutoff frequency 以上のゲイン

- Value Range : -24.0dB / +24.0dB
- Default Value : 0.0dB

## Parametric Equalization Switches

対応するparametric equalizerのON/OFF

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## Parametric Equalization Gain

parametric equalization ステージのゲイン

- Value Range : -24.0dB / +24.0dB
- Default Value : 0.0dB

## Parametric Equalization Center Frequency

parametric equalization の中央周波数

Value Range : 20Hz to sampling rate / 2

Default Value : Default value depends on the equalizer used.

- Low parametric equalizer : 200Hz
- Mid-Low parametric equalizer : 500Hz
- Mid-High parametric equalizer : 1300Hz
- High parametric equalizer : 2500Hz

## Parametric Equalization Q

parametric equalization のQ。EQ band の幅を決めます。

- Value Range : 1.0 Q / 100.0 Q
- Default Value : 5.0 Q

## Equalization Output Gain

equalization module の出力ゲイン

- Value Range : -12.0dB / +12.0dB
- Default Value : 0.0dB

## Compressor

信号のダイナミクスを制御することに加えて、コンプレッサーはしばしば音の振る舞いを整えるために使用されます。

クリエイティブでアーティスティックにコンプレッサーを使用するには、使いやすく、面白いサウンドを作成できることが重要です。



EVOチャンネルのコンプレッサーモジュールはピュアコンプレッサーのダイナミクスエンジンをベースにしており、EVOチャンネルではさまざまなモードで同じ圧縮タイプが利用できます(各モードはピュアコンプレッサーの微調整に対応します)。モードによってはLID圧縮(レベル独立検出)を並行して使用するため、オーディオレベルがしきい値を下回っていてもゲインリダクションが処理される場合があります。



## Mode

compressor module には、9つのコンプレッション モードがあります。

使用できる modes :

- Start
- Kick/Snare
- Overhead
- Drum Bus
- Bass
- Acoustic
- Piano
- Vocal
- Mix

Default Value : Start

## Threshold

compressorのThreshold

- Value Range : -42.0dB / +18.0dB
- Default Value : Depends on the Mode.

## Ratio

Compression ratio parameter.

- Value Range : 1.0:1 / 10.0:1
- Default Value : Depends on the Mode.

## Attack

Attack value of the compressor.

- Value Range : 0.1ms / 1000.0ms
- Default Value : Depends on the Mode.

## Release

Release value of the compressor.

- Value Range : 1ms / 10000ms
- Default Value : Depends on the Mode.



## Auto Adapt.

有効にすると、コンプレッサーはオーディオ信号に応じてリリース時間を入力信号に合わせてますが、リリース時間の値を超えることはありません。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Enabled

## Gain Reduction Display

compressorによってゲイン リダクションされた値を表示します。

- Value Range : 0dB / -24dB

## Compressor Output Gain

compressor module の出力ゲイン

- Value Range : 0.0dB / 24.0dB
- Default Value : 0.0dB

## Wet

ウェットパラメータは、並列圧縮のために、圧縮された信号が元の信号と混合される量を定義します。

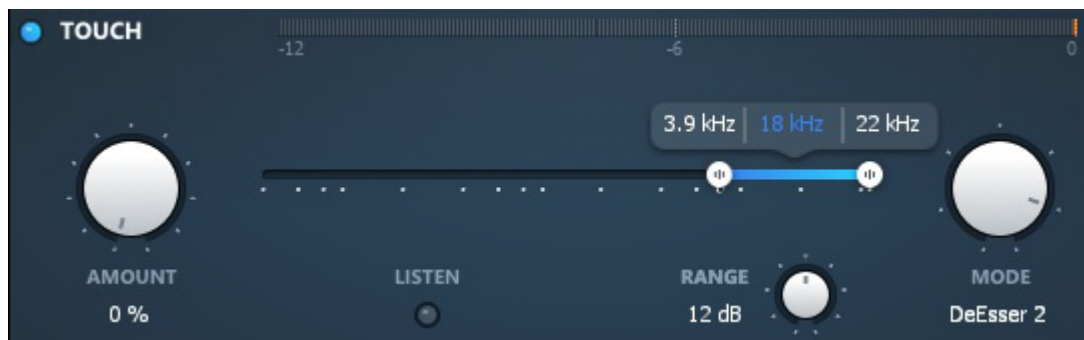
- Value Range : 0% / 100%
- Default Value : 100%

## Touch

ボーカルクット、ドラム、ギター、ピアノなど、さまざまな種類の素材にはさまざまなツールが必要です。素材に応じた正確な特殊処理が必要です。

EVOチャンネルのタッチモジュールは、DeEsser、Expander、Transient and Sustain Designerなど、7種類の処理モードで、素材の要件に合わせて設計されたさまざまなプロセッサを提供する多相セクションです。

EVOチャンネルの調整可能な信号フローを使用すると、タッチモジュールは、最初にDeEsserまたはExpanderをフローの先頭に配置したり、Compressの後にTransientデザイナーを配置したりするなど、最もうまく機能する場所に挿入できます



## Mode

モードパラメータは、タッチモジュールが使用するプロセッサを定義します。7つのモードがあります。

Available modes :

- Transient Boost
- Transient Kill
- Sustain Boost
- Sustain Kill



- DeEsser 1
- DeEsser 2
- Expander

Default Value : DeEsser 2

## Amount

タッチモジュールによって処理された信号の量。

- Value Range : 0% / 100%
- Default Value : 0%

## Release/Range

以下のモードでリリースパラメーターがあります。

- Transient Boost
- Transient Kill
- Sustain Boost
- Sustain Kill
- Expander
- Value Range : 1ms / 1000ms
- Default Value : 20ms

2つのディエッサー モードは2つのディージャーモードには最大ゲインリダクションを制限するためのレンジパラメーターがあります。

- Value Range : 0dB / 24dB
- Default Value : 12dB

## Frequency Range

タッチモジュールは定義された周波数範囲で動作します。

Value Range :

- Minimal bound : 20Hz
- Maximal bound : Sampling Rate / 2

Default Value :

- Inferior bound : 3.9kHz
- Superior bound : up to Sampling Rate / 2
- Range width : Depends on the sampling rate.

## Listen

有効にすると、周波数範囲で実際の信号設定を監視できます。

- Value Range : Enabled / Disabled
- Default Value : Disabled

## Output

### Output Gain

出力ゲインコントロールは、EVOチャンネルの出力の信号レベルを調整します。

メーターには、-24~+ 18 dBの範囲で、-18 dBを基準にしたRMS信号(VUメーター、青)とピーク信号(ピークメーター、緑)の両方が表示されます。

Value Range : -24.0 dB / +18.0 dB

Colors :

- Blue : RMS Value



- 
- Green : Peak Value
- Default Value : 0.0 dB



---

# Shortcuts

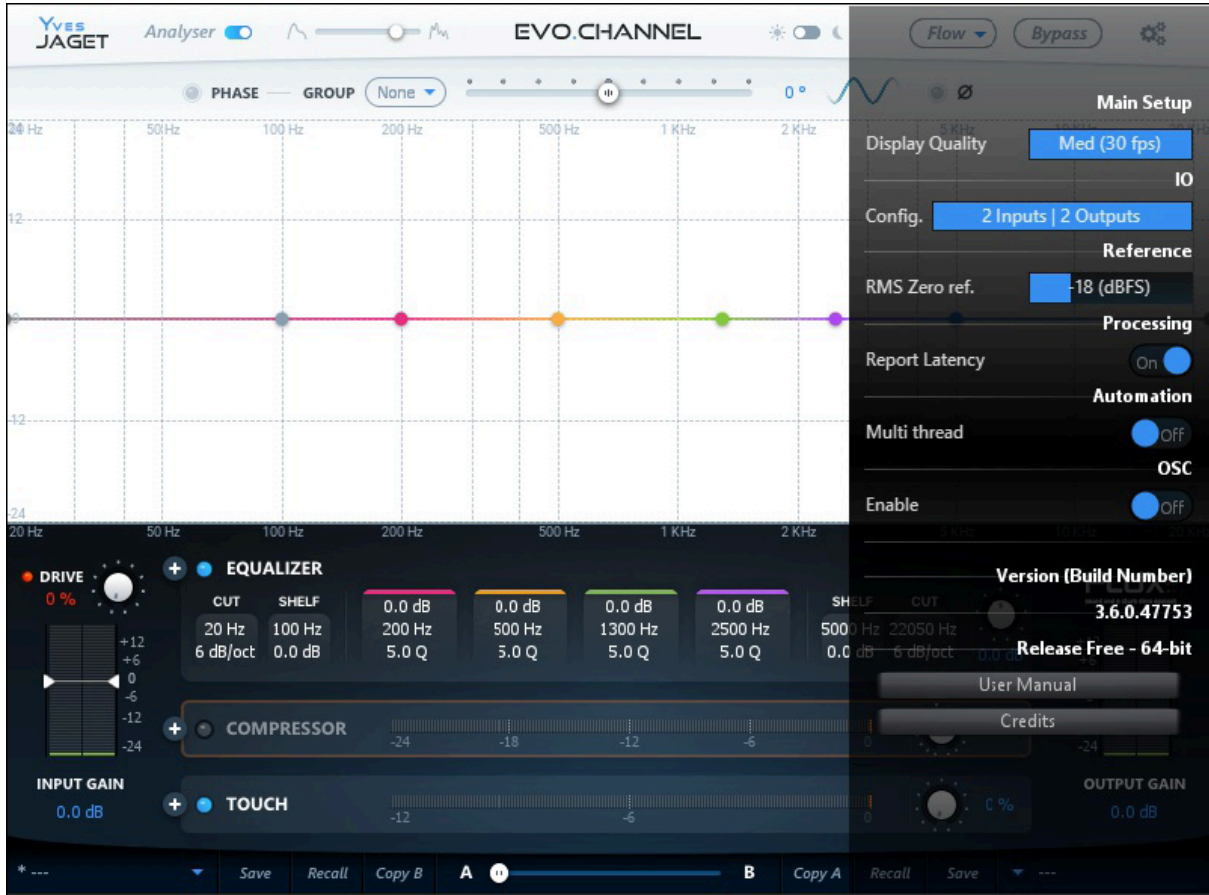
ユーザーの操作強化とワークフローの改善のために、Shortcuts が加えられました。

Where	Shortcut	Description
EQ Display	Mouse Click + Alt	Reset to default value
EQ Display	Mouse Move + Ctrl	Q change only
EQ Display	Mouse Move + Shift	Gain change only
EQ Display	Mouse Move + Ctrl + Shift	Frequency change only
EQ Display	Wheel + Ctrl	Q change only
EQ Display	Wheel + Shift	Gain change only
Compressor Mode of the Mode	Mouse Click + Alt + Shift	Reset all compressor parameters to the default value



# Plugin Settings

歯車のシンボルをクリックすると、一般設定の範囲とユーザーマニュアルへのアクセスボタンがあるウィンドウが開きます。



## Main Setup

### UI Refresh Rate

プラグインのUIの最大リフレッシュレート

### I/O

### Input / Output

I/O設定とレイアウトは常に表示されるわけではありませんが、常に使用可能なわけではありません。一部の設定およびフォーマットでのみ編集できます。

### Config

現在のI/O設定は、特定のVSTホストでのみ利用可能です。通常、マルチチャンネル構成を処理するための機能が制限されたホストです。



## Layout

現在の入出力構成に基づいて使用可能な入出力経路指定。3つ以上の入力チャンネルが利用可能な場合、レイアウトは編集可能です。

レイアウトがデフォルト値から変更された場合は、入力セクションのレイアウト情報の横にアスタリスク\*が表示されます。

## Processing

### Report Latency

ホストへの遅延レポートを Enables/Disables します。

## Automation

### Multithread

Multithread Automationを Enables/Disables します。

## OSC

EVO Channel には OSC が備わっています。

### Enable

OSCコントロールとプラグインのパラメータのマッピングを有効/無効にします

## Version Information

Plug-in version と build-number の情報です。

### User Manual / Credits

User Manual へのリンクと Plug-in creation credits です。





# Preset Management

EVO Channelは、他のすべてのFlux ::プラグインと同様に、スロットAとスロットBと呼ばれる2つのプリセット スロットがあります。これにより、2つのパラメータ設定に同時にアクセスできます。各スロットの設定を個別に呼び出してそれらの設定を交互に切り替えるだけでなく、モーフィングスライダーにより、2つのプリセットの間でモーフィングを行うことができます。プリセットスロットの1つをクリックすると、プリセットマネージャが表示されます。



## Preset Sections

EVOチャンネルにはセクションAとセクションBと呼ばれる2つのプリセットセクションがあり、2つのフルセットのパラメータ設定に同時にアクセスできます。Aセクション(左下)またはBセクション(右下)をクリックし、プリセット表示の矢印をクリックすると、プリセットマネージャにアクセスする新しいウィンドウが開きます。

## Save

[SAVE]をクリックすると、選択したプリセットが現在の設定を反映した同じ名前の新しいプリセットに置き換えられます。新しい変更を加えずに既存のプリセットを保持したい場合は、プリセットリストで空の場所を選択し、現在の設定を反映したこの変更されたプリセットの新しい名前を入力して[SAVE]をクリックします。リコールプリセットリストからプリセットを選択したら、RECALLボタンを使ってセクションAまたはセクションBにロードします。プリセットは、呼び出された後にのみ有効になります。

## Copy A / Copy B

セクションの現在のパラメータはもうひとつの値にコピーされます。セクションAまたはBが現在の値で再初期化され、モーフィングスライダーは対応するセクション側に100%でセットされます。

## Morphing Slider

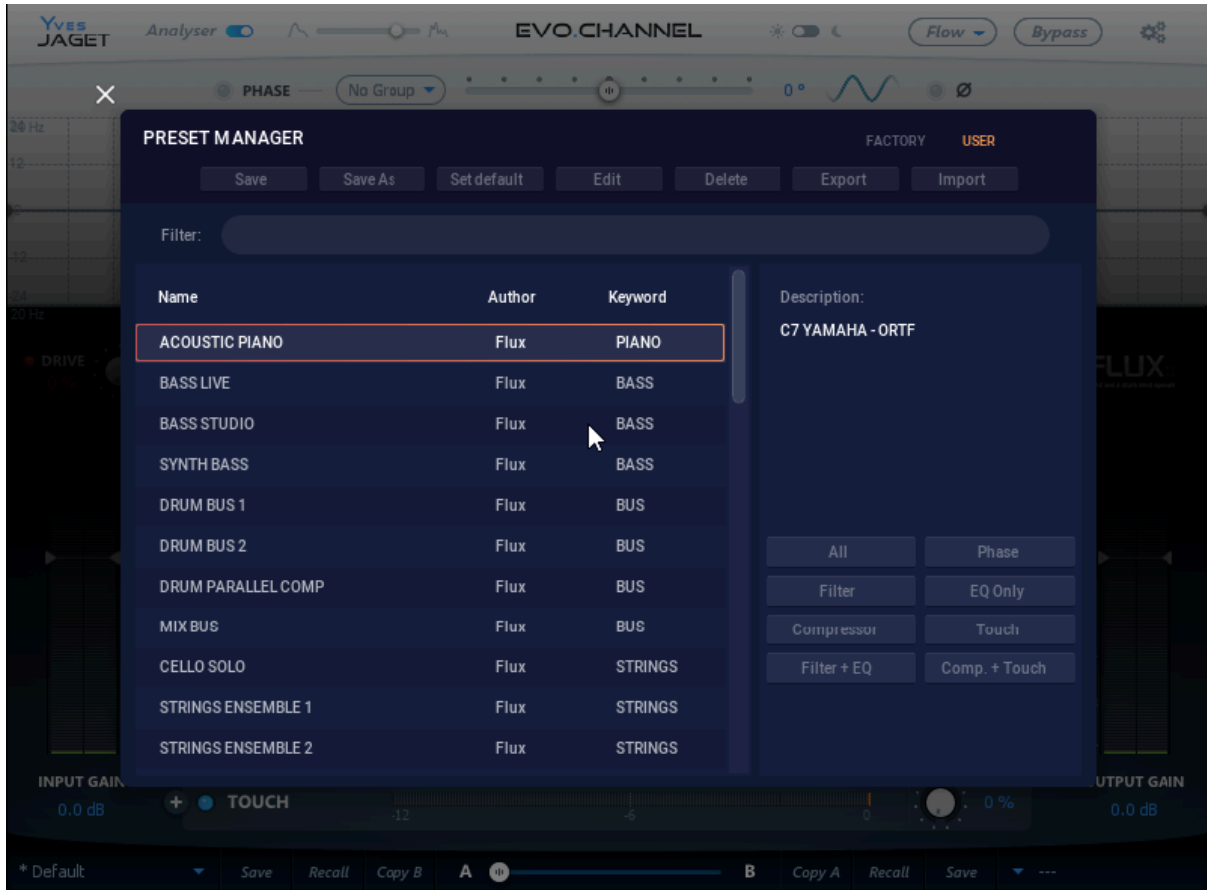
両方のパラメータセクションのパラメータ値を変更します。特定の値の表示はありません。両方のパラメータセクション(AとB)からの現在値へのモーフィングを行います。

スライダー領域の片側をダブルクリックすると、2つのパラメータセクションが切り替わります。モーフィングされたパラメータ設定の結果は、新しいプリセットとして保存することができます。



# Preset Manager

プリセットマネージャーには2つのプリセットバンクがあり、ファクトリーバンクにはファクトリープリセットがあります。このバンクはプリセットの保存には使用できませんが、プリセットのいずれかをプリセットスロットにロードしてユーザーバンクに保存することができます。



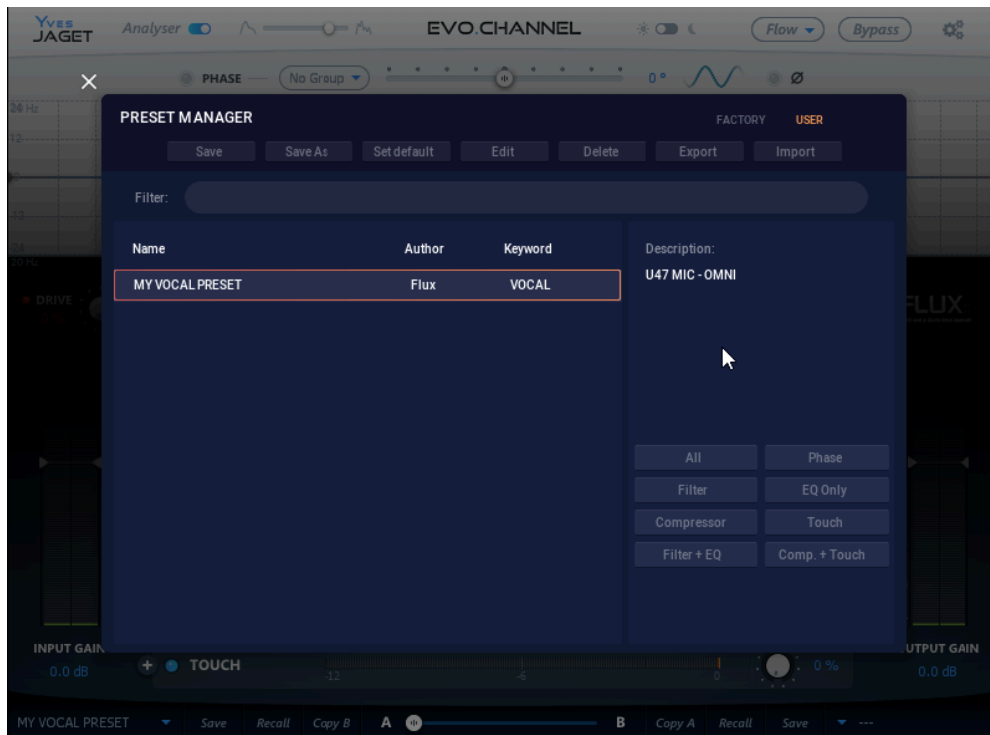
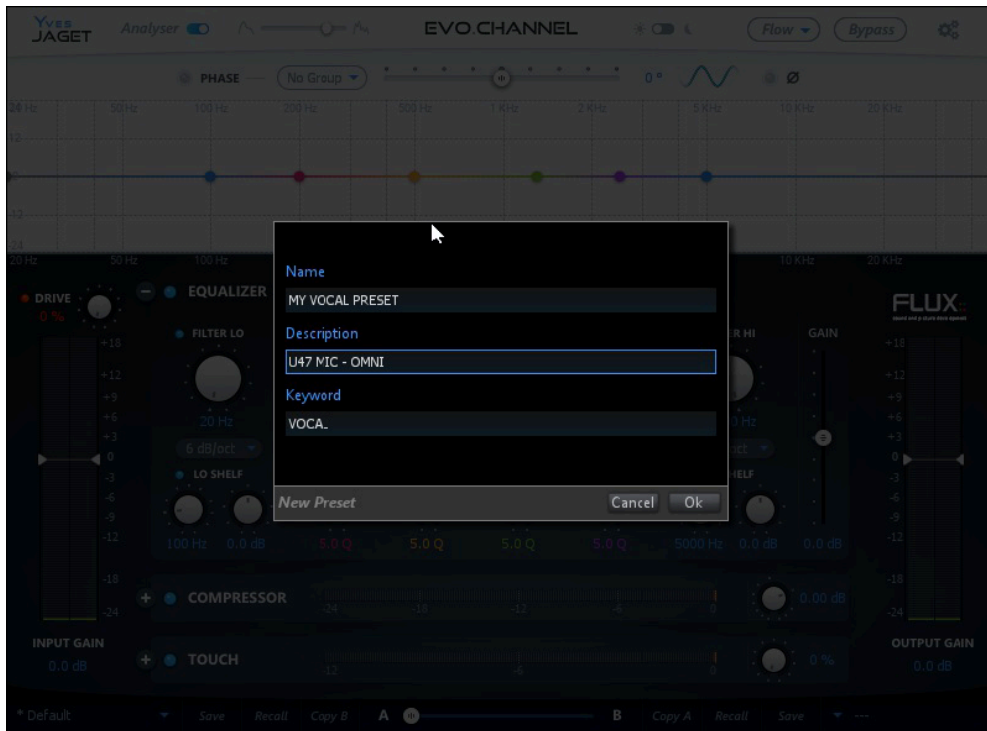
プリセットマネージャーでは、プリセットリスト内の目的のプリセットの名前をダブルクリックすることでモーフィングスライダの位置に対応するプリセットスロットにロードできます。

- プリセットマネージャーの追加コントロール
- Recall Aは選択したプリセットを対応するスロットにロードします。
- リコールBは選択したプリセットを対応するスロットにロードします。
- 更新: 選択したプリセットに現在の設定を保存します。(ユーザーバンクでのみ利用可能)
- 新規、現在の設定を新しいプリセットに保存します。(ユーザーバンクでのみ利用可能)
- 複製は、選択したプリセットのコピーを作成してリストに保存します。
- 編集により、プリセットのメタプロパティを変更できます。(ユーザーバンクでのみ利用可能)
- 削除、選択したプリセットを削除します。(ユーザーバンクでのみ利用可能)
- エクスポート、現在のプリセットバンクの内容を反映したファイルを作成します。
- インポート: インポートしたバンクのコンテンツを現在のプリセットバンクのコンテンツに追加することでプリセットバンクファイルをインポートできます。

プリセットを保存または変更するときに、プリセットを保護するためのオプションが表示されます。プリセット保護が有効になっている場合は、プリセット作成者のみがプリセットのチェックを外して扁壺を行うことができます。つまり、マルチユーザー構成でプリセットを保護することができます。保護されたプリセットは、その作成に使用さ



れたセッションのみで変更できます。他のユーザーセッションで使用された場合、インポートまたは削除のみが行なえます。





---

# Specifications

## Availability

### **EVO Channel is available in:**

AU / VST / AAX Native\* / AAX AudioSuite\* / Waves WPAPI

\* AAX Native & AAX AudioSuite in Pro Tools 11 and later

## Processing

### **EVO Channel provides :**

Up to 16 channels Input/Output in VST/AU/AAX.

Up to 8 channels in WPAPI for Waves Soundgrid.

64-bits internal floating point processing.

Sampling rate up to 384 kHz.

## Hardware Requirements

A graphic card fully supporting OpenGL 2.0 is required.

Mac OS X : OpenGL 2.0 required – Mac Pro 1.1 & Mac Pro 2.1 are not supported.

Windows : If your computer has an ATi or NVidia graphics card, please assure the latest graphic drivers

from the ATi or NVidia website are installed.

## Software License Requirements

In order to use the software an iLok.com user account is required (the iLok USB Smart Key is not required).

## Compatibility

All major native formats are supported

Windows – 7 SP1, 8.1 and 10, all in 64 bits only.

VST (2.4)

AAX Native\*

AAX AudioSuite\*

Waves WPAPI

Mac OS X (Intel) – All versions from Yosemite 10.10.5 to latest. (Compatible with previous versions but not supported)

VST (2.4)

AU

AAX Native\*

AAX AudioSuite\*

Waves WPAPI

\* AAX Native & AAX AudioSuite in Pro Tools 11 and later

